



プラネタリウムの外側は、半面は地球を、もう半面は太陽を表し、周辺は天文コーナーになっています。

あつべつ

なんでも

イチバン

札幌市青少年科学館
プラネタリウム

今年は、六万年ぶりの大接近が話題になった火星を、夜空に探した人も多かったのではないのでしょうか。星空を見上げると、今でもひと際明るく輝く赤い星を見つけることができます。地球上から肉眼で見える星は、八千から一万个と言われていますが、都心部では、街明かりや大気の汚れのため、実際に見ることができ

る星の数はもっと少なくなります。都心部でも、キャンプに行ったときのような、満天の星空を見ることができ

るのが、札幌市青少年科学館にあるプラネタリウム。道内最大規模の直径十八メートルのドームに再現された星空は、思わずため息が出るほど。その日の星空の案内や季節の星座の解説を聞くことができます。また、季節の話題をテーマにした夜間特別投影や字幕付きの投影、「星のへや」

での初歩の天文相談、移動天文車「オリオン2世号」の望遠鏡で星を見る観望会なども行われています。

これから迎える冬は、明るい星がたくさん輝き、夜空が星座たちで一番にぎやかな季節。季節の星座とは、午後八時から十時ごろに南の空に見える星座のこと。冬の星座の代表は、並んで輝く三つの星が目印のオリオン座。腕のいい狩人である巨人オリオンの姿が見えるでしょう。星座にはそれぞれ物語があります。

星空を見上げながらその物語に思いを巡らせるのも楽しいでしょう。また、十二月十五日の午前三時ごろには、ふたご座流星群が極大を迎え、たくさんの流れ星が見えるかもしれません。寒くなってきましたが、今年の冬は星空の散歩を楽しんでみませんか。

札幌市青少年科学館

厚別中央1条5丁目2-20
☎892-5001 FAX 894-5445
テレホンサービス ☎892-1100
http://www.ssc.slp.or.jp/

観覧時間

午前9時30分～午後4時30分(10月～4月)
午前9時～午後5時(5月～9月)

休館日

毎週月曜日、毎月最終火曜日、祝日の翌日、特別展最終日の翌日、12月27日～1月4日。

(春・夏・冬休み期間中は無休)
詳しくは科学館へお問い合わせください。

区役所掲示板



厚別区児童防火絵画展(10月16、17日)。区内の小学1、2年生から寄せられた、力強く描かれた消防車両の絵38点が展示されました。

防火は日ごろの心構えから

十二月一日から三十一日までは、歳末消防特別警戒期間です。厚別消防署では、消防署職員と消防団員による巡回パトロールを行います。皆さんのご協力をお願いします。

区内の火災発生件数は、二十三件(十一月二十日現在)。昨年同時期と比較して五件の増となっております。放

火、火遊び、たばこが、火災原因の上位になっていきます。これからの季節は、ストーブなどの暖房器具を使用することが多くなり、ちょっとした不注意が火災の原因になってしまいます。火災は起こさないことが何より大切。「火気」に対しては日常生活から注意しましょう。

放火されない環境を

放火は、無作為、発作的に行われるため放火されない環境づくりが大切。

- ・家の周りに燃えやすいものを置かない
- ・物置、車庫などには鍵をかける
- ・ごみは決められた日に出す

火遊びの原因をなくす

- ・子どもには、火の恐ろしさや正しい知識を教える。
- ・手の届くところにマッチやライターを置かない
- ・一人で留守番をさせない

たばこの火の消火を確認

喫煙後の消火を確認する習慣を身に付ける。

- ・寝たばこはしない
- ・くわえたばこ、投げ捨てはしない
- ・完全に消えていない吸い殻はくずかごに捨てない

暖房器具の取り扱いに注意

- 設置場所や給油方法にも注意する。
- ・燃えやすいものを近くに置かない
- ・給油時には火を消す
- ・外出時、退出時には火を消す

厚別消防署予防課

☎(892)2100